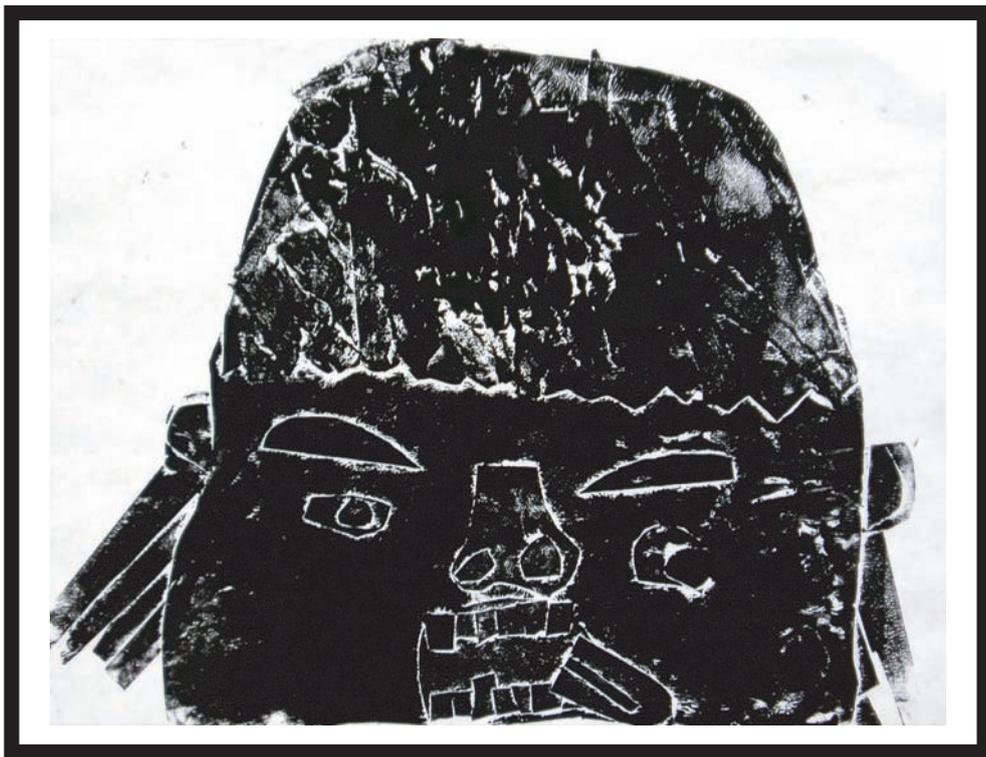


第18回 田善顕彰版画展

《田善賞 小学生の部》

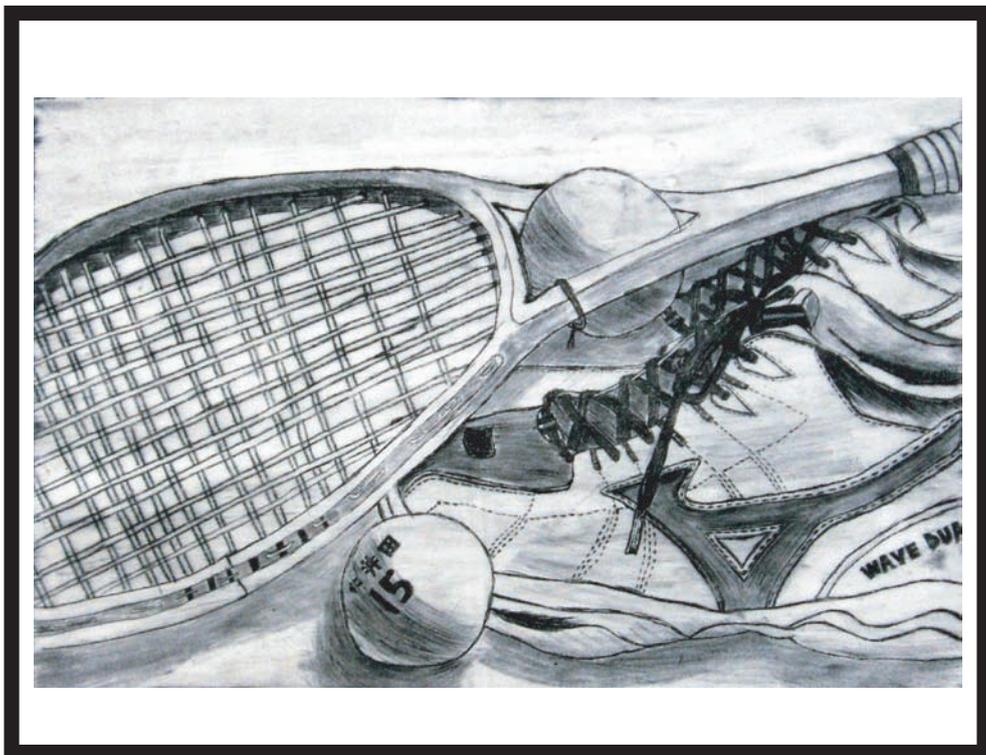


《講評》「びっくりしたよ」というテーマを自分のイメージの中に描いて思い切り表現している。画面の構成にとらわれず書きたいものをどんどん表現していった非常に迫力のある作品。一年生らしい元気な表現になっている。

「びっくりしたよ」

須賀川市立西袋第二小学校 1年 嘉 齊 茉 菜

《田善賞 中学生の部》



《講評》ドライポイントの技法を使っている。自分の思い入れのあるもの、テニスのラケット、ボール、シューズの組み合わせを大変工夫して立体感のある表現にできたと思う。ドライポイントならではの二ドールの使い方が良く、大変すばらしい作品に仕上がった。

「大切な物」

須賀川市立仁井田中学校 2年 猪 越 万希子

第18回 田善顕彰版画展

《最優秀賞 小学生の部》



《講評》非常に地域性が良く出ている。おばあちゃんが大根掘りをしていてその姿を愛情込めて表現している。家族の働いている姿の見えない現代の生活だが、作品を通してそういう姿を捉えているのが良い。細やかな観察した成果が表現されていると思う。

須賀川市立白方小学校 6年
渡邊 佳生子

《最優秀賞 小学生の部》



《講評》画面の構成が非常に上手い。画面一杯に自分の習字を書いている様子を上手くとらえている。特に元気の良さが画面の中にぶつけられているような感じがする。非常に力強い画になっている。

須賀川市立長沼東小学校 4年
広田 美佐子

《最優秀賞 中学生の部》



《講評》ドライポイントの技法で鏡に映った自分の顔を自画像風に仕上げている。黒のドライポイントの繊細なニードルを使った線が見事に表現できた。人物の立体感、存在感、さわやかな姿が見事に描かれている。バックの処理、全体まとめ等、大変良くできている。

須賀川市立第一中学校 2年
平田 未奈子

《最優秀賞 中学生の部》



《講評》木版画の基本である刀の使い方が大変すばらしい。三角刀や平刀、丸刀などを巧みに駆使して見事な人物を作り上げている。人物の構図も安定感と動きがあり、白と黒の比率も大変良く出来ていると思う。素晴らしい作品。

須賀川市立仁井田中学校 1年
穂積 朋子

第18回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》



《講評》木版画の命とも言える白と黒のバランスが良くとらえられている作品。手の表情、顔の表情がピアノ力をひいているときの雰囲気をよく表現している。

須賀川市立仁井田小学校 4年
山田 真也

《優秀賞 小学生の部》



《講評》跳び箱を飛び越えた瞬間の喜びがとても良く表現されていると思う。高いところに自分が舞い上がっているという姿が見事に描かれている。

須賀川市立第一小学校 2年
坂本 麗

《優秀賞 小学生の部》



《講評》紙版画の技法に毛糸を張ったり、タンボールの裏を効果的に表現したり、凸凹のある紙などを使って画面の混じる効果を考えながら描かれている。大変動きがあつて良い作品。

須賀川市立稲田小学校 2年
酒井 永遠

《優秀賞 小学生の部》



《講評》ピアノ力の鍵盤など、なかなか細かいところが良く観察されている。ほつぺたをふくらませてピアノ力を吹いている表情が良くとらえられている。

須賀川市立仁井田小学校 4年
有賀 日南子

《優秀賞 小学生の部》



《講評》人物を表現する事は難しいが、人物の動きが相撲を通して上手く表現されている。前方と背景の関係、遠近感も良くとらえられた表現だと思う。十分な力を持った作品。

須賀川市立仁井田小学校 6年
官野 慎太郎

《優秀賞 小学生の部》



《講評》白黒のバランス、花を見つめている顔の表情、そしてひまわりの花の細かいところまで観察して上手く表現されている。

須賀川市立第二小学校 6年
吉田 有希

第18回 田善顕彰版画展

《優秀賞 小学生の部》



《講評》題名に取り上げたテーマが上手くとらえられている。楽譜と向き合う顔の表情、大きな目を見開いてトランペットを吹く様子が良く表現されていると思う。

須賀川市立第二小学校 4年
福岡 小春

《優秀賞 小学生の部》



《講評》ラケットを自分の顔の前に出した構図だが、つかんでいる手の動きが上手くとらえられているし、打ち返す時の表情も上手く描かれている。白と黒のバランスも大変良く出ている。

須賀川市立仁井田小学校 5年
谷津 裕憲

《優秀賞 小学生の部》



《講評》大変まじめな表現で、製作者の几帳面な性格がそのまま表れているような気がする。サクソスの細かな表現、指の動き、そういう細かな観察が良く表現されていると思う。

須賀川市立仁井田小学校 6年
桑原 唯

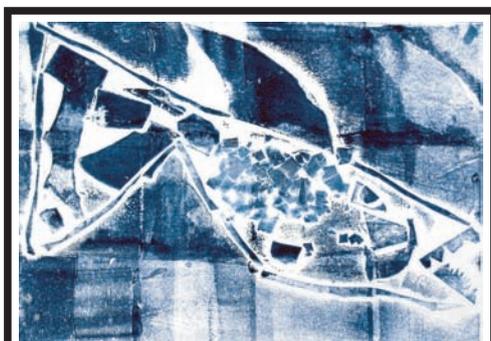
《優秀賞 小学生の部》



《講評》一版多色刷りの技法を用いている。力強い画はラケットを振り上げている状況が上手くとらえられている。動きのある大変効果的な表現になっている。

須賀川市立柏城小学校 5年
佐藤 大樹

《優秀賞 小学生の部》



《講評》画面いっぱいに紙版画で大きな魚を表現している。青いインクを使った空の表現が上手くマッチしていて大変効果的な表現になっている。

須賀川市立稲田小学校 3年
小抜 建陽

《優秀賞 中学生の部》

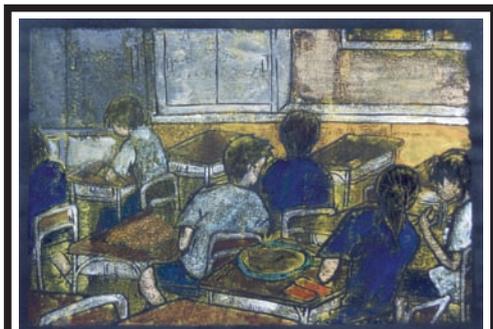


《講評》ドライポイントの技法でニードルを使った表現、人物の表現が大変雰囲気を出している。特におぼろげぼろとえかたをしているようで、髪の毛や顔の部分部分が雰囲気を高める工夫をして表現されている。

須賀川市立第一中学校 2年
長沼 雄基

第18回 田善顕彰版画展

《優秀賞 中学生の部》



《講評》一版多色刷りのこの版画作品は、大勢の人物を画面にとらえたところに魅力がある。教室の雰囲気や友達の動き、夕暮れの光の差し込んでいる明るさ、友達の話している様子等見事にとらえられた作品。

須賀川市立稲田中学校 1年
深谷 海

《優秀賞 中学生の部》



《講評》一版多色刷りの技法で自分の使っている文房具を表現している。平らな文房具に立体感を生み出す所に工夫が見られる。色彩の調子も統一されたところが成功していると思う。構図も良く出来ている。

須賀川市立稲田中学校 1年
佐藤 綾花

《優秀賞 中学生の部》



《講評》人物をとらえる所に大変工夫が見られる。じつと外を見ている友達をよく観察し、彫刻刀の色々な種類を見事に使い分けて表現することが出来た。明暗の表現、あるいは背景の処理の仕方、光のとらえ方が大変良く出来たと思う。

須賀川市立仁井田中学校 1年
野口 彩紀

《優秀賞 中学生の部》



《講評》木版画の技法で、版画刀を良く使いこなしている。人物のとらえかた、くしろいであるおじいさんのいつも見ている姿を良くとらえている。おもしろいほなほなでも、細かいところに気をつけているのを感じます。

須賀川市立第二中学校 1年
渡邊 裕理佳

《優秀賞 中学生の部》



《講評》母親の姿だろうか。木版画として大変細かいところまで、感謝を込めて普段の姿をとらえている。光の明るいところから浮き上がって見える姿、幾何学的に区分けされた構図で大変素晴らしい作品。

須賀川市立第二中学校 1年
鈴木 千佳穂

《優秀賞 中学生の部》



《講評》ドライポイントの技法を使った作品。ニードルの使い方が細かなところまで行き届いている。身近な愛用のラケットを愛情深く表現されている。立体感の表現も見事だと思う。バッグの破れている所等、細かいところに気をつけていると感じる。素晴らしい表現。

須賀川市立仁井田中学校 2年
田中 佑希